

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza.co.jp/ga-tpc>

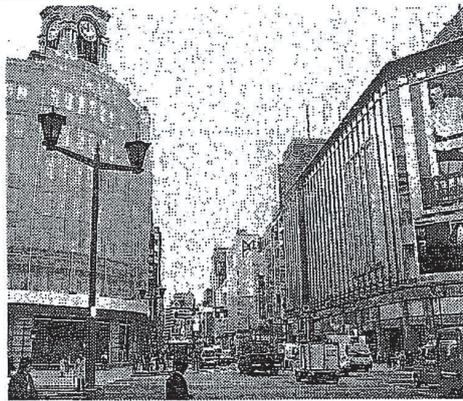
● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●

銀座デザインルールが、日本経済新聞（朝刊、5月15日付）で紹介されました。銀座デザインルールについて、各町会、通り会等で勉強会などを開催される場合は、銀座街づくり会議スタ

ッフが御説明にあがります。気軽にお声がけください。また、銀座街づくりについてのご意見などお聞かせください。

2008年(平成20年)5月15日(木曜日)

日本経済新聞



ルールは街並みの変化などに合わせて見直すという（東京・銀座）

街づくり会議策定

東京・銀座で営業する企業でつくる任意団体「銀座街づくり会議」は、銀座地区の景観の基準となる「銀座デザインルール」をまとめた。建物や屋外広告の外観や色彩について、街並みとの調和を求める内容。事業者との協議の場で説明していた項目を明文化した。出店や改装に必要な手続きを円滑にする。ルールは街並みの変化などに合わせて見直すという。

「銀座ルール」デザイン版

街並みと調和求める 建物・広告の外観や色彩

銀座地区には建物の高さや改装の事実上の前提条件となつて、景観への配慮などを求める新「銀座ルール」がある。建物の外観や色彩を、街づくり会議の関連組織である「銀座デザイン協議会」と事前協議するように定めている。地元との合意が出店

銀座地区には建物の高さや改装の事実上の前提条件となつて、景観への配慮などを求める新「銀座ルール」がある。建物の外観や色彩を、街づくり会議の関連組織である「銀座デザイン協議会」と事前協議するように定めている。地元との合意が出店

デザイン協議会は二〇〇六年十一月の設立以来、約百件の事前協議を扱っている。従来は個別協議ごとに、確認が必要項目を事業者に説明していた。「事前に基準を示した方が素早く協議できる」（街づくり会議）と判断した。

ルールでは際立った色彩を避けたり、輝度の高い素材を大きな面積で使

銀座デザインルールのチェックリスト (建物の正面外観分)

- ▼素材や色は、銀座のにぎわいと風格ある街並みにそごうか
- ▼近隣の建物との調和がとれた空間を作り出しているか
- ▼閉鎖感や圧迫感を感じさせるデザインではないか
- ▼低層部のデザインが通りのにぎわいに寄与するか
- ▼設備や避難階段、駐車場入り口等が暗い印象を与えないか
- ▼屋上設備が通りから見えないよう配慮があるか
- ▼屋上工作物を含めた外観イメージを考慮しているか
- ▼交差点などにある場合、両方の通りや区域の雰囲気に対応したデザインか
- ▼建物内側で外部から見えるものを、外観として配慮しているか

つたりしないよう要請。動画や音響で広告を映す大型ビジョンも「景観を乱す可能性がある」とした。ただ、使用できない色彩や素材などは列挙せず「銀座らしい外観かどうかを、個別に議論する」（同）という。

ルールをまとめた冊子では「銀座通り」や「みゆき通り」など、地区内の主要な通りの景観や街並みの特徴を記載。通りの特徴に配慮した店舗づくりを求めるほか、事前協議で確認する二十一项目のチェックリストも挙げた。事前協議などを通じて、当初計画から店舗外観や建物のデザインなどを変更した実例も紹介している。

ルールは流行やデザイン感覚などの変化に合わせて、柔軟に見直す方針。全銀座会の遠藤彬代表幹事（ハツコエンドウ・ウエディングス社長）は「事業者同士で銀座にふさわしい景観を決める『慣習法』として定着させたい」と話している。